

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部	
	06068-1	会故の森整備・活用事業	室名	森林林業室	
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
		基本施策	04:自然との共生	務	款 農林水産業費
		施策の方向	04:自然とのふれあいの場や機会の創出	科	項 農林水産業費
戦略プロジェクト		目	目 林業振興費		

② 目的・概要	対象	市民、事業所職員
	目的	関門市瀬地内の市有林を、かめやま会故の森環境整備協議会が主体となり、市民や事業所職員が豊かな自然に触れ合える機会を創出し、憩いの場、環境学習の場として、森林の持つ「保健休養の働き」が最大限に発揮されるよう整備することを目的とする。
概要	かめやま会故の森環境整備協議会が主体となり、関門市瀬地内の市有林の整備・活用を行なう。	

		27年度	28年度
①	名称	整備等活動参加人数	
	補足	計画値 実績値 単位	349 人
②	名称	整備等活動参加人数	
	補足	計画値 実績値 単位	
③	名称	整備等活動参加人数	
	補足	計画値 実績値 単位	
④	名称	整備等活動参加人数	
	補足	計画値 実績値 単位	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					○かめやま会故の森環境整備協議会の開催 2回(5月、10月) ○森林環境整備業務委託 下刈り0.5ha(2回)、間伐0.3ha ○森林体験イベントの開催 11月木工教室、木の実工作 139名参加 2月広葉樹植樹、歩道整備、しいたけ菌打、木の実工作 210名参加 ○国土緑化推進機構理事長賞受賞 10月全国育樹祭(岐阜県)にて表彰			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,517	平均給与額×③
	国庫支出金					一般職員人件費 ②	1,517	
	県支出金					所要人員 ③	0.20	
	地方債					臨時職員人件費 ④		
	その他					受益者負担額 ⑤		
	一般財源		240	240		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	1,517			
	総コスト		⑥	1,757				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市民・事業所・行政で組織する「かめやま会故の森環境整備協議会」が主体となり、関門市瀬地内の市有林において、森林体験イベントを開催し、市民や事業所職員が自然に触れ合える機会を創出し、憩いの場、環境学習の場を提供できた。 また、国土緑化推進機構理事長賞を受賞できたことは、同協議会が主体となり実施してきた自然環境の保全や森林整備、憩いの場、環境学習の場づくりの活動が認められた。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	「かめやま会故の森環境整備構想」に基づき、平成20年度から「かめやま会故の森環境整備協議会」が主体となって、森林整備や森林体験イベントを開催してきた。 最近では、脱退する事業所やイベントに参加しない事業所が増えてきたことや、森林体験イベントもマンネリ化しているため、森林体験イベントの内容を検討する必要がある。	
	【改善の方向性】	森林体験イベントについて、平成28年度は市民や事業所職員の参加を促すような新たな企画を検討する。 また、「かめやま会故の森環境整備構想」は平成29年度で終了するが、構想に位置づけている森林整備はほぼ完了したことや、脱退する事業所やイベントに参加しない事業所が増えてきたことから、構想終了後更新するか、終了するかを「かめやま会故の森環境整備協議会」の委員の意見を聴取し、検討していく。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博